



月刊 千葉労働

国鉄千葉動力車労働組合

〒280 千葉市要町2番8号(動力車会館)

電話 (鉄建) 千葉 2935・2936 番
(公) 千葉 (22) 7207 番

91.4.24 No. 3386

中江昌夫 V 3 (2996 票) 当選!

労働千葉の底力を発揮!

二九九六票の重さ!
一人一人の「足」で闘いとつた
あまりにも偉大な成果!

二一日、午後一〇時すぎ中江当選が伝えられた前原の選対事務所は歓声と拍手でわきかえった。ついにヤッター! 社会党への逆風が吹き荒れる中、その反動を突きぬけ、中江氏の、連続三選勝利をもぎとったのである。中江候補も、夫人と娘の美由紀さんと共に到着、一斉に割れんばかりの拍手が送られる。

組合員・支持者・町内会の人達のどの顔も、うれしきでクシヤクシヤである。本当によくやった。九一年冒頭からの、津田沼攻防を中心とする、組織破壊粉砕、九一・三ダイ改闘争をやりぬき、息つく暇もなく、中江闘争に突入、闘いの立ち遅れを、全支部・全組合員の全力を傾注した闘いに



支持者の歓声にこたえる中江氏と夫人と美由紀さん。(1991年4月21日)

より、見事克服し、一人一人の足で、一票一票をもぎとり勝利を闘いとつた。

二九九六票の重さは、あえて言うって、一期二期を上回るといっても過言ではない。

祝勝会は、中江候補と中野委員長によって、樽酒が割られる。

有賀総合選対委員長のお礼のあいさつも、感激でしばしば声がつまる。

鈴木宏氏(労組選対委員長)も、「中江さんの出身労組の人達もよくやった。社会党の退潮の中でも、中江さんの人柄が市民をつかんだということだ」と語ってくれた。

革マルの

事業所破壊を粉砕

中江選挙闘争は、革マルの悪辣な妨害、事務所破壊を粉砕し、勝ちとつた偉大な勝利である。

終盤、猛然と労働千葉組合員の決起がつくられ、ガイガイと勝利にむかっ

ての前進が始まるや、危機感にかられた革マルはついに、一六日の深夜、事務所破壊にのり出した。

しかし、組合員と支持者は、即座に防衛体制を築き、以降革マルに一糸もふれさせることなく、完璧に前原の事務所を守



津田沼駅で最後の訴え! 市民も足をとめ真剣に南へ

(4月20日)

りぬき、勝利を修めたのである。

中江選挙勝利の意義は、回りしれないものがある。

加えて、組織内候補高木氏をはじめ、重点候補である、鈴木俊輔氏(千葉市)、足立満智子氏(成田市)、辻田実氏(館山市)の当選を勝ちとつてきた。

この勝利を武器に、反戦・反動海部政権打倒新J R体制粉砕、当面する夏季物販達成にむかって共に闘いぬこう。統一地方選を全力で闘いぬかれた全組合員に心からお礼を申し上げます。

当選御礼

御支援ありがとうございました

平和と緑の文化都市船橋実現のために全力でがんばります。今後とも御指導、御鞭撻のほどよろしく願います。

日本社会党・船橋市議会議員

中江昌夫

90年代の勝利、新たな10年を切りひらこう!